

年度	日付	政府側	モザンビーク市民社会	日本市民社会	ブラジル市民社会	現地状況・UNHCR	
2009年度		国別援助計画で回廊開発が掲げられる					
	9月	プロサバンナ事業の3カ国合意					
	10月～3月	プロサバンナ事業事前調査					
2011年度		プロサバンナ事業開始					
	2012年 1月					テテ州モアティゼ郡カテンベ住民、Vale抗議鉄道封鎖	
2012年度	4月	3カ国合同ナカラ回廊農業投資促進ミッションのモザンビーク訪問					
	6月	JICAセミナー@東京 上記ミッション報告 & FGIによるナカラ・ファンド説明					
	7月	プロサバンナ/ナカラ・ファンド開始セミナー@ブラジル(JICA協賛)					
	8月	JICAセミナー@東京 民間農業投資(ナカラ・ファンド)				選挙法改正・選管の構成をめぐるレナモと政府との間の争い	
	10月11日		UNAC・州農民連合による「プロサバンナ批判声明」			↓	
	11月			JICAを招いてのセミナー開催			
	12月	ODA政策協議会@東京					
2013年度	2013年 1月	第1回ProSAVANA意見交換会		第1回ProSAVANA意見交換会			
	4月					レナモ・政府フレリモの武力衝突開始	
	5月28日	公開書簡提出@三カ国首脳	UNAC・州農民連合が起草した3カ国首脳宛「プロサバンナの緊急停止と再考を求める公開書簡」			↓	
	7月		第1回ProSAVANA3カ国民衆会議				
	7-8月			現地調査の実施			
	9月			「プロサバンナの中断と抜本的見直し」要請			
	11月					地方都市選(中・北部)でフレリモ苦戦(MDM勝利:ナンプーラ市・グルエ市)	
2014年 1月	安倍晋三首相のモザンビーク訪問						
2月	ODA政策協議会@沖縄		NGO:モザンビークの民主主義・ガバナンス悪化に関する注意喚起				
	5月1日		UNAC年次総会ナンプーラ宣言(農民への弾圧・脅迫・買収・情報操作に強く抗議)			↓	
	5月12日	国会で外務大臣・JICA理事長、「(プロサバンナ事業における)丁寧な対話、丁寧な作業」を確約					
	6月4日		No to ProSAVANAキャンペーン開始				
	7月25日	ODA政策協議会@東京		NGO:モザンビーク&ナカラ回廊開発:ガバナンス悪化の注意喚起			
		3カ国政府代表出席@マプト	第2回ProSAVANA3カ国民衆会議(ザンベジア州農民代表が知事による脅迫公表)				
	8月		共同調査でProSAVANA融資先企業(マタリア社)の土地収奪発覚				
	9月5日						和平合意(17ヶ月間の武力衝突後)
	10月15日						第5回大統領・議会選挙
	10月28日			「提言:プロサバンナ事業再考へ向けて」 現地調査報告会@衆議院議員会館			

2014年度	10月30日	選挙結果発表			選挙結果発表
	11月3日				MDM憲法評議会に選挙結果無効申し立て
	11月4日				選挙管理委員会、レナモの選挙結果無効化要求拒否
	11月5日				レナモ憲法評議会に選挙結果無効申し立て
	11月24日				レナモ「(合同)管理政府」提案を中央に説明表明
	11月26日				レナモ提案の「(合同)管理政府」を議会拒否(2005年以來の 情報公開法は議会通過、但し大統領の承認待ち)
	12月3日			マスタープラン素案発覚「公開申し入れ」	
	12月4日	マスタープラン素案三カ国承認@マプト			
	12月5日				レナモ自治州構想(案)表明(選挙で勝利した中部・北部の 自治をレナモが担当する提案)
	12月8日		マスタープラン素案・関連資料の公開嘆 願書		
	12月10日				レナモ党首「与党は力づくで政府を設置すべきでない。そう すれば抵抗を呼び起こすだろう…それに対して政府は警察 を動員して殺戮を起すだろうが、これを許しはしない」
	12月30日	憲法評議会の選挙結果承認宣言			憲法評議会の選挙結果承認宣言・レナモの拒否
	2015年				
	1月3日				レナモ全国で選挙結果反対のマーチ開催
	1月5日				レナモ党スポークスパーソン拘束(ソーシャルメディア等で 呼びかけて選挙結果無効を主張する集会したため)後解放
	1月6日				レナモ; 政府軍が和平合意に反して軍事行動の準備をして いるとの主張(実際、Gorongosa, Chibabava e Maringuèで特 殊部隊の集結が確認)
	1月15日	ニュッシン政権発足			
	1月21日				フレリモ・レナモ「(合同)管理政府」拒否
	2月		製粉機強要問題発覚		レナモ自治州構想賛成後、シスタック教授に脅迫
	3月20日			JICAに製粉機問題質問状	
	3月23日			「プロサバンナ意見交換会正常化」要請	シスタック教授暗殺(現在も事件解明せず)
	3月31日	突然、HPでMP掲載・郡公聴会発表			
	4月9日			JICAに二度目の製粉機問題質問状	
	4月上旬		新聞経由で公聴会を知る		
	4月12日			抗議声明発表	
	4月20日	JICA理事長「(公聴会の手法について)事前 協議あり」との国会答弁			
	4月20日-29日	郡公聴会実施			
	4月28日	第11回ProSAVANA意見交換会(外務省:「選 挙は概ね自由・公正・信頼的・平和裡に選 挙、政治の話をする、政治問題化しようとして いると思われるので、記載しない方がいい」) →		NGO側プレゼン: 選挙時・政治・人権状況の 悪化。プロサバンナ公聴会により、ローカル 政治上の利用が進む問題指摘。	
5月1日			抗議声明発表		
5月11日		教会・市民社会組織声明			
		マレマ郡公聴会出席者弾圧(付きまと い・プロサバンナへの賛成強要・投獄の 脅迫)記事			
5月15日		研究機関・10組織声明			
6月4日			以上を受けた3カ国市民社会声明(UNACその他)		

2015年度

6月15日	議員ProSAVANA勉強会(公聴会の手法について事前協議なかった可能性高まる)				
6月17日		全国公聴会市民社会声明(UNACその他)			
6月中旬		OMR所長来日			
6月30日	JICA部長UNAC訪問				
7月上旬		UNAC・キャンペーン派遣団			
7月8日	UNAC派遣団: JICA・外務省表敬訪問	声明手交・30日訪問記録問題・人権侵害			
7月9日		参議院議員会館にて緊急集会			
7月24-25日					テテ州モアティゼ郡Ncondedzi(Ndande)で政府治安維持特殊部隊とレナモの間で軍事衝突発生
7月下旬	UNAC関係農民代表、「プロサバンナ推進政府代表団の一員として招聘」発覚				Ndande住民の多くが政府部隊によるレイプ・焼き討ち・誘拐・攻撃を証言、国境を越えての避難開始
		UNAC執行部招聘予定農民とその加盟農民組織との会議@ザンベジア州			
		一連会議の最中にUNAC代表逝去			
8月8日			現地調査実施(「大臣自ら本件担当」)		
8月10日			農民分断の試みに対する抗議声明発表		
					新聞創設者・主筆暗殺
8月下旬~9月	リンバウ元副大臣等農業省招聘(農民こず)				
9月1日	農業省・外務省/JICA・日本NGOとの面談: 「反対の人の意見にも耳を傾ける」「第二ラウンドは事前相談を行う」と約束		農業省一行との面談: 公聴会の問題、人権侵害(特に表現の自由)の問題を指摘		
9月12日					政府軍レナモ党首襲撃政府軍がレナモ党首キャラバン襲撃(マニカ州Condolaからナンブーラに向かっていた)。(Guardianは24名が死亡と11/3報道)
9月25日					⇔政府情報局: レナモが民間輸送車を襲撃し民間人1名殺害とのみ発表。現場に行ったLUSA記者は9名死亡確認。少なくとも2名はRENAMO。
					レナモ事務局長(国会議員)報復可能性表明
10月2日					政府軍Ncondedzi再襲撃
10月7日	JICA「市民社会関与(対話)」現地コンサル契約の3社声かけ開始(TOR付き)				レナモ党首徒歩でソファアラ州Gorongozhaへ隠れる
10月8日					レナモ党首Gorongozhaで監視団と面談
10月9日					Beiraの党首宅での記者会見日・政府機動隊の党首宅襲撃
10月26日	現地コンサル契約応募締切				
10月27日	第13回ProSAVANA意見交換会@東京(JICA「対話(手法)」についてモ農業省が一生懸命考えているところ/外務省「選挙後平和が続いている」、実際は既に全て決まっていた)		<=NGO: 各団体の声明(無効化要求)への回答や事前相談が未だないことについての照会。今後のプロセスについての質問。		
10月28-30日	JICAと企業の契約交渉				
11月2日	MAJOL社と契約締結(TOR変更なし*締切加筆)				
11月12日					Gorongozhaでの激しい衝突目撃
	MAJOL社CSO「個別相談」(MAJOL社: 「市民社会は勝利。日本の国会の予算承認が降りないところまで来た。止めるのか前進させるか、考えを知りたい」)				Gorongozha周辺地域からの避難民発生

12月7日			現地調査報告会:ナカラ回廊開発・プロサバ ンナ		
12月8日	第14回ProSAVANA意見交換会@東京(「対話の準備状況について今は言えない」「決まったことがある訳ではない)準備の準備の前の段階」)				
12月18日		マスタープラン分析提出			
1月8日	政府系新聞に日本市民社会への誹謗記事掲載(「反対キャンペーンは日本から」)	3州農民連合に月曜日の突然のワークショップ連絡			
1月11日-12日	ナンブーラで「ワークショップ」(MAJOL社:市民社会は勝利した。プロサバにノーという予算が全部なくなる。前進させるか、止めるか決めていい。ゼロから計画を作って提案すればいい)				
1月12日	政府系新聞に1日目の結論として「プロサバ ンナ前進を合意」と記載	<=録音・声明で否定される			
1月14日		PPOSC-Nら3プラットフォームの声明⇔ UNACの声明			
1月15日					UNHCRマラウイへの難民確認(4000人近く)を発表
1月18日	今福課長・JICA農村開発部・NGO面談		今福課長・JICA農村開発部・NGO面談		
1月19日		JA!の声明			
1月20日					レナモ事務局長(国会議員)ベイラ市で暗殺未遂(護衛者は射殺)
1月21日	政府系新聞記者(1/8と同一)から日本NGOにメール送信:「プロサバ(への反対)はクーデターのために利用されているとの説がある。党名は不明だが、別の政党が政権に着くために、フレリモ政権を引きずり降ろそうという試みだと言われている。コメントは?」		日本NGOスタッフ、左記のメールを受信。直ちに、現地市民社会にメールを転送し、相談。国家人権委員会から、1月20日のレナモ事務局長の暗殺未遂に対する非難声明が送付。		
1月22日					モアティゼ郡警察長は難民の主張(特殊部隊によるレイプと焼き討ち、襲撃)を否定し、レナモがやったと主張。モアティゼ郡ゾブエ行政区長は「モザンビーク人の難民はいない、マラウイ人が農業のため越境していたのが自国に戻っただけで、無償で食べ物がほしい怠け者だから(難民キャンプに)集まっている」と主張。
1月25日	政府系		「市民社会関与/MAJOL社契約」公開質問状提出	UNAC連帯声明	
1月下旬~					ザンベジア州Morrumbala郡での衝突
1月28日					ザンベジア州Mopeia郡Zero地区警察署のレナモ襲撃
2月3~5日	今福課長モザンビーク訪問				マラウイへの追加難民発生
2月5日	PPOSCから外務省課長が「日本の市民社会組織はナンブーラ州に面会に正当性を持った市民社会組織はない」と発言したと主張も、事実でない課長から否定	<=2月10日PPOSC-Nからのメール	<=事実ではないこと。録音があることを伝える。		
2月7日					駐マラウイ・モザンビーク高等弁務官は避難民の帰還を主張し、「モ側国境ゾブエに收容所を設置し、そこに難民を移動させる(relocate)」と表明
2月9日					モザンビーク政府「マラウイには難民は存在しない」「マラウイNGOが誤ったイメージ流布。自主的に越境しただけの避難者」と主張したことが音声付きで報道。

2月10日					モザンビーク閣僚会議でマラウイのムワンザのキャンプに政府ハイレベル代表団派遣発表(ニュッシ大統領も「会いに行く」と表明)
					難民流出継続(難民数6千人を突破)
2月18日					UNHCRがマラウイ・モザンビーク両政府に対し、難民帰還の強制に注意喚起・亡命権強調